

○姫路市立図書館条例

昭和25年9月7日

条例第32号

(趣旨)

第1条 この条例は、図書館法（昭和25年法律第118号）第10条の規定により、図書館の設置及び管理について必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第2条 図書館を、次のとおり設置する。

名称	位置
姫路市立城内図書館	姫路市本町68番地258

2 図書館の活動を十分にするため次のとおり分館を置く。

名称	位置
姫路市立図書館花北分館	姫路市増位新町一丁目24番地
姫路市立図書館飾磨分館	姫路市飾磨区下野田一丁目1番地
姫路市立図書館東光分館	姫路市幸町94番地
姫路市立図書館白浜分館	姫路市白浜町甲396番地8
姫路市立図書館安室分館	姫路市田寺東二丁目7番14号
姫路市立図書館網干分館	姫路市網干区垣内南町1429番地6
姫路市立図書館青山分館	姫路市青山五丁目2番1号
姫路市立図書館広畑分館	姫路市広畑区正門通三丁目7番地
姫路市立図書館手柄分館	姫路市延末149番地1
姫路市立図書館東分館	姫路市御国野町御着283番地15
姫路市立図書館家島分館	姫路市家島町真浦2137番地1
姫路市立図書館夢前分館	姫路市夢前町前之庄2160番地
姫路市立図書館香寺分館	姫路市香寺町香呂239番地1
姫路市立図書館安富分館	姫路市安富町安志1151番地

(事業)

第3条 図書館は、図書館法に基づき、その目的を達成するため次の事業を行う。

- (1) 図書、記録、郷土資料、市政資料及び視聴覚教育の資料その他必要な資料（以下「図書館資料」という。）を収集し、分類し、配列し、及びその目録を整備すること。
- (2) 図書館資料を一般公衆の利用に供し、その利用のための相談に応じること。
- (3) 閲覧所、配本所等を設け、並びに貸出文庫の実施及び自動車文庫の巡回を行うこと。
- (4) 読書会、研究会、講習会、鑑賞会、映写会、資料展示会等の主催及び奨励に関すること。
- (5) 館報その他読書資料の発行及び頒布に関すること。
- (6) 時事に関する情報及び参考資料の紹介及び提供に関すること。
- (7) 他の図書館、学校、公民館、研究所等と緊密に連絡し、協力すること。
- (8) その他必要な業務

(職員)

第4条 図書館に次の職員を置く。

- (1) 館長 1人
- (2) 司書 若干名
- (3) その他の職員 若干名

(開館時間)

第5条 姫路市立城内図書館（以下「本館」という。）の開館時間は、午前10時から午後7時までとする。ただし、7月1日から8月31日までの間は、午前9時30分から午後7時までとする。

2 分館の開館時間は、午前10時から午後6時までとする。

(開館時間の変更)

第6条 前条に規定する図書館の開館時間は、教育委員会が必要があると認めるときは、これを変更することができる。

(休館日)

第7条 図書館の休館日は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 月曜日。ただし、この日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「休日」という。）に当たるときは、その翌日とする。
- (2) 資料整理日（毎月第3木曜日）
- (3) 資料手入期として教育委員会が別に定める日
- (4) 12月28日から翌年1月4日まで

2 前項に定めるもののほか、本館の休館日は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 休日。ただし、月曜日又は土曜日に当たる休日、5月3日から同月5日まで及び11月3日を除く。
- (2) 5月6日及び11月4日。ただし、これらの日が土曜日若しくは日曜日又は休日に当たるときを除く。

3 第1項に定めるもののほか、休日は、分館の休館日とする。ただし、月曜日又は土曜日に当たる休日を除く。

(休館日の変更)

第8条 教育委員会が必要があると認めるときは、前条に規定する図書館の休館日を変更し、又は臨時に休館日を設けることができる。

(行為の禁止)

第9条 何人も、図書館において次に掲げる行為をしてはならない。

- (1) 図書館の建物、建物の附属設備、器具、備品等（以下これらを「建物等」という。）又は図書館資料を汚損し、損傷し、又は亡失すること。
- (2) 他人に危害を及ぼし、若しくは他人に迷惑となる行為をし、又はこれらのおそれがある物品若しくは動物の類を携帯すること。
- (3) 許可なくして物品の販売、宣伝その他営利行為をすること。
- (4) 許可なくして印刷物、ポスター等を配布し、又は提示すること。
- (5) 所定の場所以外の場所において飲食し、喫煙し、又は火気を使用すること。

(6) 前各号に掲げるもののほか、図書館の管理上支障がある行為をすること。

(入館の拒否、退館の命令等)

第10条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当する者に対して、図書館への入館を拒否し、退館を命じ、又はその他必要な措置をとることができる。

(1) 前条の規定に違反する行為をし、又はしようとする者

(2) 前号に掲げる者のほか、図書館の管理上の必要な指示に従わない者

(損害の賠償)

第11条 図書館の建物等又は図書館資料を汚損し、損傷し、又は亡失した者は、これによって生じた損害を賠償しなければならない。ただし、市長が特別の事情があると認めるときは、損害賠償義務の全部又は一部を免除することができる。

2 前項の場合において、図書館資料に損害を与えた者に対しては、指定する資料の代納又は相当の代価の弁済をもってその賠償に代えることができるものとする。

(図書館協議会)

第12条 図書館法第14条の規定により姫路市立図書館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

2 協議会は、委員15人以内で組織する。

3 委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から任命する。

4 委員の任期は、2年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

5 委員は、再任されることができる。

(指定管理者による管理)

第13条 教育委員会は、図書館の設置の目的を効果的に達成するため、地方自治法（昭和22年法律第67号。以下「法」という。）第244条の2第3項の規定により、法人その他の団体であって教育委員会が指定するもの（以下「指定管理者」という。）に図書館（姫路市立図書館飾磨分館、姫路市立図書館網干分館、姫路市立図書館広畑分館及び姫路市立図書館安富分館に限る。以下同じ。）の管理を行わせることができる。この場合において、第10条中「教育委員会」とあるのは、「指定管理者」とする。

(選定方法及び選定基準)

第14条 図書館の指定管理者の指定を受けようとするものは、事業計画書その他教育委員会規則で定める書類を添えて教育委員会に申請しなければならない。

2 教育委員会は、前項の規定による申請があったときは、事業計画書等により、次に掲げる基準のいずれにも該当するもののうちから、最も適切に図書館の管理を行うことができると認められるものを指定管理者の候補者（以下「候補者」という。）として選定するものとする。

(1) 図書館の管理を行うに当たり、平等な利用が確保できること。

(2) 図書館の効用を最大限に発揮できるものであるとともに、管理経費の縮減が図られるものであること。

(3) 事業計画書の内容に沿った図書館の管理を安定して行う能力を有すること。

(4) 図書館の設置の目的に寄与する事業を企画し、実施する能力を有すること。

3 教育委員会は、特に必要と認めるときは、前2項の規定にかかわらず、前項の基準のいずれにも該当すると認められる特定のものを、そのものとの協議により候補者とすることができる。

(再度の選定)

第15条 教育委員会は、次に掲げるときは、前条第1項の規定による申請者のうち候補者(第2号の場合にあっては、指定を取り消したもの)を除くものの中から再度同条第2項の規定による選定を行うことができる。

(1) 候補者を指定管理者に指定することが不適当と認められる事情が生じたとき。

(2) 次条第1項の規定により指定した後、指定期間開始前までの間に法第244条の2第11項の規定により、その指定の取消しを行ったとき。

(指定管理者の指定)

第16条 教育委員会は、議会の議決を経て、候補者を指定管理者に指定するものとする。

2 教育委員会は、指定管理者の指定をしたとき、若しくはその指定を取り消したとき、又は管理の業務の全部若しくは一部の停止を命じたときは、その旨を告示する。

(指定管理者の業務の範囲)

第17条 指定管理者が行う業務の範囲は、次のとおりとする。

(1) 第3条各号に掲げる事業(第1号にあっては図書館資料の収集、分類及び目録の整備を、第3号にあっては自動車文庫の巡回を除く。)を行うこと。

(2) 図書館の施設及び設備の維持管理を行うこと。

(3) 前2号に掲げるもののほか、図書館の管理に関し教育委員会が必要と認めること。

(事業報告書の提出)

第18条 指定管理者は、毎年度終了後(年度の途中において指定を取り消された場合にあっては、その取り消された日以後)、法第244条の2第7項に規定する事業報告書を、教育委員会規則で定めるところにより、教育委員会に提出しなければならない。

(秘密の保持)

第19条 指定管理者の役員及び職員は、業務上知り得た秘密を他に漏らしてはならない。その職を退いた後も、同様とする。

(補則)

第20条 この条例の施行について必要な事項は、教育委員会が定める。

附 則

この条例は、昭和25年7月30日から適用する。ただし、この条例施行の際、現に姫路市本町68番地にある姫路市立図書館は、この条例によって設置されたものとみなす。

附 則(昭和28年4月1日条例第19号)

この条例は、公布の日から施行し、昭和27年11月1日から適用する。

附 則(昭和31年12月28日条例第20号)

この改正条例は、昭和32年1月1日から施行する。

附 則(昭和41年7月15日条例第35号)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（昭和５８年１２月２６日条例第２９号）

この条例は、昭和５９年４月１日から施行する。

附 則（昭和６２年３月２６日条例第１９号）

この条例は、昭和６２年３月２８日から施行する。ただし、姫路市立図書館飾磨分館に係る改正規定は、同年３月３１日から施行する。

附 則（昭和６３年９月２９日条例第３８号）

この条例は、昭和６３年１０月１日から施行する。ただし、姫路市立図書館安室分館に係る改正規定は、同年１１月１日から施行する。

附 則（平成元年１２月２５日条例第３６号）

この条例は、公布の日から施行する。ただし、第２条第１項の改正規定は、平成２年４月１日から施行する。

附 則（平成２年１０月３日条例第２４号）

この条例は、平成２年１１月１９日から施行する。

附 則（平成２年１２月２１日条例第３６号）

この条例は、平成３年４月１日から施行する。

附 則（平成３年１０月２日条例第２６号）

この条例は、市長が告示で定める日から施行する。

（平成３年１１月１３日告示第１８２号で姫路市立図書館飾磨分館の項に係る改正規定に係るものを除き姫路市立図書館網干分館の項に係る改正規定は、平成３年１２月９日から施行）

（平成３年１２月２５日告示第２０７号で姫路市立図書館飾磨分館の項に係る改正規定は、平成４年１月２５日から施行）

附 則（平成４年１０月２日条例第３６号）

この条例は、平成４年１１月２４日から施行する。

附 則（平成５年１２月２１日条例第４１号）

この条例は、平成６年４月１日から施行する。

附 則（平成９年３月３１日条例第１８号）

この条例は、平成９年４月１０日から施行する。

附 則（平成１７年１２月２０日条例第７７号）

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（平成１８年３月２７日条例第６９号）

この条例は、平成１８年３月２７日から施行する。

附 則（平成２３年３月２８日条例第３０号）

この条例は、平成２３年４月１日から施行する。

附 則（平成２４年３月２７日条例第２９号）

この条例は、平成２４年４月１日から施行する。

附 則（平成２４年１２月２１日条例第８６号）

この条例は、平成２５年２月１日から施行する。ただし、第３条第３号及び第６号の改正規定は、公布の日から施行する。

附 則（平成２８年３月２５日条例第３５号）

この条例は、平成２８年４月１日から施行する。

附 則（平成２９年６月２３日条例第５６号）

この条例は、公布の日から施行する。ただし、第６条を第２０条とし、同条の前に７条を加える改正規定（第１３条、第１８条及び第１９条に係る部分に限る。）は、平成３０年４月１日から施行する。

附 則（平成３０年１２月２０日条例第６２号）

この条例は、教育委員会が告示で定める日から施行する。

（平成３１年４月１日教委告示第１号で平成３１年４月１３日から施行）